

vol.
028

障害社通信

2023年
12月号

今年も残すところ僅かとなりました。

新しい年を迎えるにあたり、色々と準備に忙しい時期かと思えます。

本年はお付き合いいただきまして本当にありがとうございました。

来年も変わらぬお付き合いをよろしくお願い申し上げます。

町田商工会議所主催の「障がい者雇用セミナー」に参加しました

町田商工会議所が主催（町田市地域福祉部障がい福祉課及びハローワーク町田共催、町田地域障がい者雇用企業連絡会後援）する「障がい者雇用セミナー」が12月6日（水）町田市役所内で開催され、当社からも数名参加してまいりました。当日は「障害者雇用の現状」というテーマでハローワーク町田から、そして当社安藤社長から「障がいを個性から資源へ」というテーマで、それぞれお話がありました。

現在、各企業における障がい者雇用においては、障がい者雇用率の達成や合理的配慮など対応すべき課題がある中で、今回のセミナーで安藤社長から発表された「障がい者雇用は現実的にビジネスチャンス」という話が印象的で、これは社会貢献・助成金獲得・人員の充足・戦力の補強という面でチャンスがあり、障がい者雇用によって多くの企業が抱える問題の解決に繋がる可能性があるということでした。



当社の社是は「自由・豊かさ・共生」です。その「共生」社会の実現に向けては障がい当事者も健常者も関係なく、お互い尊重し合い、それぞれの能力等を発揮できるような環境作りが重要です。それには今回のセミナーでも安藤社長がお話されたような「戦力として最大限活躍してもらいたい」からこそ「配慮はするけど、甘えは許さない」ということも大切かと思えます。当社に関わる皆さんの力を合わせて共生社会を作っていきたい！！と再確認したセミナーでした。

障害社ボッチャ同好会始動！！

「障害社ボッチャ同好会」が発足いたしました。

今回は、そのボッチャ同好会の目標や目的、活動方針についてお伝えしたいと思います。

この同好会の目的は「ボッチャというスポーツを通じて社内のコミュニケーションを活性化させること」です。しかしながら大会に出て真剣勝負もしたいな～、ということで、障がいの有無に関係なく参加できる大会である「ボッチャ東京カップ」へ出場すること、そして将来的には同大会での優勝を目指していきます！！

「目標は大きく」ですね(笑)

11月中旬に行ったボッチャ同好会の第1回目の活動では、ルールの周知、基本投球動作の練習、そして2チームに分かれた紅白戦形式での練習を行いました。若手社員やベテラン社員も混ぜての練習でしたが、非常に盛り上がる練習となり、投球フォームがそれぞれ違って個性が溢れていました。紅白戦では、「ランチをかけて勝負だ！」と若手チームとベテランチームのパチパチの対決を見ることもできました。（結果はご想像に・・・）

この同好会活動を続けていくことは、私たち障碍社が目指す、障がい者と健常者が垣根を越えて共に支え合う「共生社会」を体現することに繋がると考えています。今後は地域の高齢者チームの方や他企業の方たちとも交流を深めながら活動していきたいと思っていますので応援よろしくお願いたします！

興味がある方は下記担当者までご連絡ください！！

ボッチャ同好会担当：相談支援事業所ビバモス 廣田卓未



つばめ通信

資格講習事業所つばめの小田嶋です。

利用者様にとって、どこの都市で暮らすのかというのは福祉制度ひとつを取っても重要な問題だと思います。先日、能登半島を訪れた際、社会福祉法人佛子園が運営する石川県輪島市の輪島KABULET(カブーレ)を見学してきました。佛子園は1960年より、当初は障害をもつ子どもの入所施設としてスタートしましたが、近年は「ごちゃませ」をコンセプトとするプロジェクトを進めています。輪島市中心部に点在する空き家や空き地を活用し、子どもから高齢者、障害や疾病の有無・国籍等に関わらず地域に暮らすすべての人たちの共生拠点として、平成26年度に内閣府まち・ひと・しごと創生本部が全国に先駆け「生涯活躍のまち」先行7モデルの一つとして採択した事業だそうです。(輪島KABULETが全国では初めての運用開始)

輪島KABULETは街に点在する空き家、空き地をリノベーションすることで、街全体の人やシーンを「ごちゃませ」にしようとしており、そこで天然温泉、足湯、食事処、住民自治室、生活介護、放課後等デイサービス、高齢者デイサービス、訪問介護ステーション、カフェなどを運営しております。



今回はその施設の中で自家製粉、自家製麺の蕎麦屋(就労支援A型)で食事をしましたが、漆塗りの室内はしっとりと落ち着いていて、お蕎麦も天ぷらもお世辞抜きで美味しかったです。スタッフは適度に構って適度に放っておいてくれる感じがあり、利用者さん達も地域の人も肩の力が抜けているように見えました。

このような福祉も地域も「ごちゃませ」な街があったら、お互いの理解が深まって雇用の場が広がったり、安心して子供を産んだり、年を取って孤独を感じる人が減るのかもしれないね。

竹田本部長のタケログ

～車椅子で行ける美味しいお店～

子供の頃から大好きな食べ物の一つがカレー。今回ご紹介するのは、美味しいスープカレーを食べさせてくれるお店です。

○ ガラク 東京八王子店 (とろとろ炙り焙煎角煮)
お店のテーマは「和風ダシを効かせたコク旨な味わいと秘伝スパイスの調和」メニューの中から私が選んだのは「とろとろ炙り焙煎角煮」まずはスープを一口。鶏の旨みと野菜の甘み、カツオ節などから取る和風ダシが味に深みを出しています。具材の角煮もほろほろと柔らかくて美味しい！素揚げされたブロッコリー、人参・キャベツなどの野菜も、それぞれの美味しさをしっかりと感じるができます。鶏ガラと野菜ベースのブイヨンスープ・和風ダシ・数十種類のスパイス

・具材である角煮と豊富な野菜、それぞれの美味しさが渾然一体となっているのがガラクのスープカレー。ぜひ、一度食べてみてください！



重度肢体不自由者のリアルな生活

こんにちは、横浜事業所の三井です。

先日、愛犬のカイが10才の誕生日を迎えました。10年という月日の長さを実感しましたし、同時に人間とは違う時間の流れを生きているんだなとも感じます。2,3才の時にあったやんちゃさはありませんし、寝ている時間も増えたように感じます。全身真っ黒なのに近頃は顎髭が白くなってきました。それでもいいことが一つはあるものです。車いすに乗った私より確実に力が強くなって落車させられてから一人ではいけなくなった散歩ですが、先日久しぶりに散歩に行ったら自力で近所の公園に行くことができました。年を重ねた愛犬とできる事ができて嬉しい限りです。時間の許す限りいろんなところに出かけたいと思います。



当事者スタッフのリアルな生活をSNSで紹介しております。下記QRコードからご覧ください！！



facebook



Instagram

障害社通信について、みなさまのご意見をお聞かせください！！



株式会社障害社

〒193-0013

東京都町田市原町田4-18-6 マーブルパレス101

TEL: 042-850-9141 / FAX: 042-850-9142

MAIL: info@shogaisha.co.jp

障害社HPは

こちらの

QRコードから

